

---

スカウト手引き —  
アメリカ合衆国内の  
教会ユニット用

2015年5月改訂

末日聖徒  
イエス・キリスト  
教会

発行

末日聖徒イエス・キリスト教会  
ユタ州ソルトレーク・シティー

© 2012, 2015 Intellectual Reserve, Inc.  
All rights reserved.

英語版承認：2015年3月  
翻訳承認：2015年3月

原題：Scouting Handbook for Church Units in the United States: Revised May 2015

Japanese  
35814 300

## 1.0 はじめに

この手引きは、末日聖徒イエス・キリスト教会のスカウト活動プログラムに関連する指針および方針を説明している。ビショップリックおよび若い男性ならびに初等協会、スカウト指導者は、ワードでスカウトプログラムを管理するうえで、この情報をよく知っておくべきである。各スカウトプログラムの詳細は the Boy Scouts of America (BSA) [ボーイスカウトアメリカ連盟] から入手することができ、本手引きには含まれていない。教会の方針と BSA の方針の相違点については、必要に応じて本手引きで触れている。別途記載がないかぎり、スカウトという言葉には、Cub Scouting および Boy Scouting, Varsity Scouting, Venturing が含まれる。

### 1.1 アロン神権および初等協会におけるスカウトの目的

スカウトは強健で望ましい人格的特質や市民性、肉体および精神面での健康を育みながら、若い男性および少年が、家族や教会との強いきずなを築くのに役立つことができる。神権指導者の指示の下で、スカウトは若い男性および少年の証を育てるアロン神権定員会および初等協会の活動を補う。教会の提供するスカウトは、家庭および初等協会のクラス、アロン神権定員会の延長線上にあるべきである。スカウトは、少年および若い男性を対象とした教会活動プログラムの一環として機能する。スカウト活動は、福音を中心とした目的を達成するために計画するべきである。

## 2.0 訓練と成長

スカウト活動の責任に召された若い男性指導者および初等協会指導者は、教会で使用するスカウト活動の原則、指針、手続きの訓練を受けるべきである。訓練を受けたスカウト指導者は、福音を理解し、福音に沿って生活し、神権による管理とスカウト活動のプログラムを理解している方が、スカウト活動に参加する若い男性および少年に対してよりよい奉仕を行うことができる。そのため成人指導者は、以下の訓練を修了していれば訓練を受けたものと見なされる。

- Youth Protection Training (インターネットで視聴可能。青少年にかかわる奉仕を開始する前に修了し、以後 2 年ごとに繰り返し受講する)。
- Cub Scout および Boy Scout, Varsity, Venturing leaders を対象とした指導的立場にいる人のための訓練、または、troop committee members (隊委員) を対象とした Troop Committee Challenge (隊委員チャレンジ)。

- Boy Scout, Varsity, Venturing の指導者を対象とした Outdoor Leadership Skills (BSA の地元 BSA local district と council が提供)。

### 2.1 継続的な訓練

ステーク若い男性会長会およびステーク初等協会会長会も、ワード若い男性、初等協会、スカウト指導者に継続的な訓練および支援を提供する。それに加えて BSA は毎月円卓会議を開いて、指導者がスカウトの方式と技術を学ぶことができるようにする。また BSA は、Wood Badge (ウッドバッジ) や Trainer's EDGE (トレイナズエッジ) など、様々な任意参加の訓練コースも提供している。ステークおよびワードの予算交付金は、成人のスカウト訓練のために使うことができる。

宿泊を伴う活動が求められる訓練コースには、成人の男女合同グループで参加するべきではない。ただし、睡眠や身支度が男女別々に、互いに離れた場所で行えるような配慮がなされている場合はこの限りではない。可能な地域では、指導者は日曜日以外に開催される訓練に出席するべきである。

### 2.2 スカウト活動に関する神権指導者会

教会は BSA と協力して、任意参加の Priesthood Leadership Conference on Scouting (スカウト活動に関する神権指導者会) をニューメキシコ州シマロンのフィルモントスカウト牧場で開催する。1 週間にわたって開催されるこのコースの対象者は、ステーク会長会である。このコースでは、教会ユニットにおけるスカウト活動は神権を基盤としていることを強調し、神権の目的の達成と福音の原則の実施を強化するためにスカウト活動をどう活用できるかを教える。

### 2.3 連携

神権指導者およびその他の教会員は、district (地区) や council (協議会)、または全国のスカウト委員会および活動にボランティアとして参加して、スカウト団体と教会との関係を強化し、スカウトプログラムを改善することができる。教会の方針の範囲内でできるかぎりのことをして、両者の間に友好的な関係と相互理解、協力関係を作り上げるべきである。

### 2.4 LDS-BSA Relationships Committee (LDS-BSA 関係委員会)

各 BSA local council (BSA の地元協議会) において LDS-BSA relationships committee を組織し、教会の評議会および BSA local council との間の協力関係を強化するべきである。この委員会には、BSA local council に出席している各ステーク会長会の一員が入る。割り当てを受けた

地域七十人は、この委員会の委員長となるか、またはステーク会長を同委員長に指名する。ステーク会長が委員長に指名された場合、そのステーク会長は、調整評議会かその他の場で地域七十人に定期的な報告を行う。BSA council Scout executive (BSA 協議会スカウト役員)、または同役員から指名された者が、この委員会のアドバイザーを務める。

### 3.0 スカウトに関するステーク指導者の責任

#### 3.1 ステーク会長会

ステーク会長会は、ステーク内の各ワードでスカウトが組織されて機能しており、若い男性および少年、指導者が登録されていて、スカウト活動ユニットが認可を受けていることを確認する。ステーク会長会はまた、BSA local council および district executive (地区役員) と良好な協力関係を築く。ステーク会長会の一員は、LDS-BSA relationships committee の委員を務め、BSA local council の無任所評議員として登録する。

#### 3.2 ステーク高等評議員

ステーク会長会は、アロン神権および初等協会関係の割り当てを受けている高等評議員に、アロン神権委員会として集会を開いてスカウト活動に関する話し合いをしてもらうことができる(『手引き 第2部: 教会の管理運営』15.3.2 参照)。これを行う高等評議員は、Assistant district commissioners (地区コミッショナー補佐) として BSA に登録する。彼らは BSA から適切な訓練を受け、monthly district commissioner meeting (月例地区コミッショナー集会) に出席し、自分のステークの District commissioner (地区コミッショナー) および Unit commissioner (ユニットコミッショナー) と緊密に連携して働く。

#### 3.3 ステーク若い男性会長会

ステーク会長会の指示の下でステーク若い男性会長会は訓練を実施し、各ワードの個々のアロン神権スカウト活動プログラムの支援を調整する。彼らは、新たに召されたワード若い男性会長会にオリエンテーションを行い、継続的な指導と励ましを与える。彼らは Unit commissioner として BSA に登録し、ステーク内の個々のスカウト活動ユニット (troops, teams, crews) の橋渡し役を務める。ステーク会長会は、ステークの他の会員を Unit commissioner としてステーク若い男性会長会とともに奉仕する者に任命することができる(3.5 参照)。

ステーク若い男性会長会は適切なスカウト指導

者訓練を受け、district committee meetings (地区委員会集会) と円卓会議に出席する。また、彼らはユニットの指導者と定期的に集会を持って彼らと緊密な関係を築き、認可申請ができるよう助け、BSA district および council の活動、訓練の機会、方針、健康問題および安全問題の情報を提供する。

### 3.4 ステーク初等協会会長会

ステーク会長会の指示の下で、ステーク初等協会会長会は、各ワード初等協会組織の個々のスカウトプログラムを支援する。彼らは、新たに召されたワード初等協会会長会にオリエンテーションを行い、継続的な指導と励ましを与える。彼らはまた、ワード初等協会会長会が教会のスカウト活動の方針を理解し、スカウト活動と『神への信仰』プログラムがどう補い合うのかを理解することができるよう助ける。必要に応じてデイキャンプの計画を助ける。その他の情報については、『手引き 第2部』の 11.5.3 を参照する。

ステーク初等協会会長会は、Unit commissioner として BSA に登録することができる。またはステーク会長が、ステークの他の会員を、Unit commissioner としてステーク初等協会会長会の指示の下で奉仕する者に任命してもよい。この割り当てを与える際、ステーク会長会は、ほかにも責任がある会員に過剰な負担をかけることのないよう注意すべきである。Unit commissioner は、各ワードで行われるカブスカウトプログラムと 11 歳の少年のためのスカウトプログラムの橋渡し役を務める(3.5 参照)。

初等協会担当の高等評議員は、ステーク初等協会会長会に、訓練の機会の情報を伝え、彼らがワードの初等協会指導者を助けられるよう支援する。

### 3.5 Unit commissioner

Unit commissioner は、ステーク内のスカウト活動ユニットを助ける者として奉仕する。Cub pack, Scout troop, Varsity team, Venturing crew はそれぞれ、Unit commissioner の助けを得るべきである。ステーク若い男性会長会は、Unit commissioner として奉仕する。ステーク会長会は、ステーク初等協会会長会の一員またはステークのその他の会員を Unit commissioner に指名することもできるが、これはその会員に過剰な負担をかけることがないと思われる場合にかぎる。Unit commissioner には以下の責任がある。

1. BSA に登録して必要な訓練を受ける。
2. スカウトの方針と手続き、評価プログラムについて学ぶ。

3. ワードの成人スカウト指導者と緊密な関係を築き、彼らと定期的に話し、ステーク内のスカウト活動の状況を Assistant district commissioner に報告する。
4. ステーク内のすべてのスカウト活動ユニットにまずオリエンテーションを行い、引き続き支援し、指導する。
5. スカウト活動ユニットに訓練の機会および認可申請の締め切り、健康問題および安全問題、ならびにステーク内および BSA local district および council で行われる活動の情報を提供する。
6. Scouting units およびステークの間、ならびに Scouting units (スカウト活動ユニット) および BSA local district の間で有意義な情報交換が行われるようにする。これは円卓会議またはステーク指導者会その他の時間に行うことができる。

委員長の署名がされ、提出されるよう取り計らう。

4. district committee meeting および the annual council business meeting に出席する。
5. スカウト指導者訓練に出席する。
6. 召されてからあまり時間を置かずにきちんと訓練を受けるようスカウト関連の召しを受けている成人に呼びかける。
7. うまく機能するスカウト委員会が組織できるよう助ける。
8. 年次「Friends of Scouting」キャンペーンを実施する。
9. 少年および若い男性、その指導者が表彰を受けられるよう助ける。

#### 4.3 スカウト委員会

ビショップリックはワードスカウト委員会を組織して、スカウト活動がアロン神権の若い男性および8歳から11歳の少年を支援する活動としてうまく機能するようにする。ビショップリックは Scouting Committees の委員として奉仕する召しを、数人の有能な成人（少年および若い男性の父母を含む）に与える。委員の一人が、委員長に召される。教会員でない人も含め、ふさわしい成人は、同委員会で奉仕することができる。各委員会にはビショップリックの一員が入るべきである。

Scouting Committees は、個々のスカウト活動ユニットに対する責任を果たすために、必要に見合った規模に拡大することができる。指導者が少ない場合または若い男性もしくは少年の人数が少ない場合は、一つの委員会にアロン神権の年齢の若い男性全員を代表させ、もう一つの委員会に Cub Scouting を代表させることもできる。

スカウト委員会がワードに複数ある場合は、初等協会会長会の一員が以下の割り当てを受けるべきである。(1) 11歳の少年を担当する会長会の一員が Boy Scout troop committee (ボーイスカウト隊委員会) で奉仕し、(2) 8歳から10歳の少年を担当する会長会の一員が Cub Scout pack committee (カブスカウト隊委員会) で奉仕する。

スカウト委員会：

1. 必要に応じてワードでのスカウト活動について話し合い、委員長から割り当てを受ける。
2. 必要な奉仕を行うことにより、スカウト活動を支援し助ける。
3. スカウト活動ユニットが教会および BSA の方針と標準に従って活動できるよう取り計らう。

## 4.0 スカウトに関するワード指導者の責任

### 4.1 ビショップ

ビショップはワードのスカウト活動に全般的な指示を与え、それが本手引きおよび『手引き 第2部』の 8.13.4 ならびに 11.5.3 に記載されているとおりにきちんと組織され、機能するようにする。ビショップは BSA に登録し、ワードから認可されたスカウト活動ユニットの役員として奉仕する。

### 4.2 ビショップの顧問

ビショップの顧問は、8歳から11歳までの少年およびアロン神権定員会の少年のためのスカウト活動プログラムを監督することによってビショップを助ける。

ビショップは、地元の Scouting district (スカウト地区) および council のワード代表を務める責任を一人の顧問に割り当てる。この顧問は, chartered organization representative (COR) [認可組織代表者] として登録する。この顧問は他の指導者ととともに以下のことを行う。

1. ワードの全スカウト活動ユニットを毎年認可する。
2. 8歳から11歳までの少年と12歳から15歳までの若い男性およびその成人指導者を登録する。16歳から17歳の若い男性およびその指導者は、ワードが Venturing crew を主催・後援している場合、または、本人が進級を目指している場合には、登録するべきである。
3. 旅行および活動の計画が完成したら、そこにビショップと、認可組織代表者または委員会

---

## 5.0 アロン神権におけるスカウト活動

### 5.1 アロン神権定員会アドバイザー（ワード若い男性会長会）

一般的にアロン神権定員会アドバイザーは、ワードのスカウト活動ユニットの成人指導者として奉仕する。アドバイザーもアドバイザー補佐も、定員会集会和スカウト活動ユニットの集会に出席し、BSAに登録しなければならない。

### 5.2 青少年の指導者

スカウト活動は執事定員会会長会および教師定員会会長会と祭司定員会のビショップ補佐の責任の一部である。スカウト活動の計画は、会長会の集会およびスカウト活動ユニット指導者会で行うべきである。日曜日の定員会の集会をスカウト活動の計画会にするべきではない。

各スカウト活動ユニットの指導者には、ビショップリックに指名され定員会の会員から支持された若い男性になるべきである。スカウト活動の目的のため、これは選挙となる。通常、この指導者には定員会会長または祭司定員会の中の補佐になるが、教会員であるかどうかにかかわらず、そのほかのふさわしい若い男性がこれを務めることもできる。スカウト活動ユニットのその他の青少年指導者は、定員会会長会から指名され、ビショップリックの承認を受け、定員会会員から支持される。

定員会会長会は、定員会アドバイザーの助けを受けて集会を持ち、それぞれのスカウト活動を定員会のその他の活動と調整する。会長がこの集会の管理と司会を行う。その他の若い男性が青少年スカウト活動指導者に召されている場合、会長はその人に集会でスカウト活動に関係する話し合いの部分の司会してもらい、彼の指導力を支える姿勢を示すべきである。定員会アドバイザーはこの集会に出席して、集会を管理する人たちに成人の立場から支援と指示を与える。

スカウト関係の集会はすべて、祈りで開会して祈りで閉会するべきであり、成人のユニット指導者の霊的な話を入れるべきである（Scoutmaster's Minute [スカウト隊長の短い話] など）。

---

## 6.0 初等協会におけるスカウト活動

初等協会では、『神への信仰』プログラムをスカウト活動と調整して、少年がバプテスマの聖約を守り、家庭でさらによく奉仕し、神権を受けるための準備の土台を築くようなものにするべきである。福音を中心にした目的を達成するような活動ができるようにするために、入念に計画する

必要がある。

スカウト活動は、家庭や初等協会で学んだ福音の原則を実践する機会を少年に別途与えることによって、少年とその家族を支援する。このプログラムが成果を上げるためには、親の参加が鍵となる。またスカウト活動は、少年に指導者になる機会を与え、少年が良き市民としての習慣や態度を育むための助けになる。

初等協会の年齢の少年を対象としたスカウト活動やスカウト関係の集会は、日中に毎週開くのが望ましい。集会は集会所や家庭、戸外で開くことができ、祈りで開会して祈りで閉会するべきである。

### 6.1 8歳から10歳までの少年を対象とした Cub Scouting

適切に行われた場合、Cub Scouting は家庭中心の楽しい活動になる。11歳未満の少年を対象とした、スカウトが主催・後援する泊りがけのキャンプは、計画するべきではない。カブスカウトプログラムの詳細はBSAが公開しており、BSA local council officesで見ることができる。

### 6.2 11歳の少年を対象としたスカウト活動

末日聖徒の少年は、11歳になるとボーイスカウトになる。彼らはワードのスカウト隊に所属するが、自分の班の班員として働き、ワード初等協会会長会の指示の下で活動する。彼らはワードの Boy Scout troop（ボーイスカウト隊）の boards of review（審査委員会）および courts of honor（名誉会議）、ならびに不定期な日中の活動に参加することができる。

スカウト活動を行うことで、11歳の少年がアロン神権を受けられるため、また執事定員会と若い男性プログラムに移行するための備えとなる。スカウト活動には、彼らが自信をつけ、証と兄弟愛を育み、アロン神権の義務を理解できるように助ける力がある。11歳の少年は、同年代の仲間や執事定員会会長会、その指導者たちとの間に良い関係を築く必要がある。

11歳の少年はまだ定員会の一員ではないためアロン神権のスカウトとは別個に集会を持つ。彼らの集会は日中に開くのが望ましいが、夜に集会を開く必要がある場合、少年が夜遅くまで家に帰らないことがないようにするべきであり、帰宅するまでしっかりと見届けなければならない。

11歳のスカウトは、進級の対象になる。彼らには、宿泊を伴う6回のキャンプ以外の First Class 章受章要件を、12歳になる前にできるかぎり多く達成するように勧める。

11歳のスカウトは、1泊のキャンプに年3回参

加することができる。これは Second Class 章進級のキャンピング要件に該当する。必要に応じて、これらのキャンプはワードの Boy Scout troop と一緒に実施することができる。11 歳スカウトの指導者は、ワード初等協会会長会および初等協会担当ビショップリック、ワードス Scouting committee と相談しながらキャンプの計画を立てる。11 歳スカウトを対象としたスカウトが主催・後援する泊りがけのキャンプは、これ以外に計画するべきではない。

女性指導者は、この少年たちと一緒に泊りがけのキャンプには参加しない。11 歳スカウトの指導者が女性の場合は、ビショップリックの初等協会担当アドバイザーまたはその他のふさわしい成人男性に、泊りがけのキャンプの監督を依頼するべきである。父親には、自分の息子や、父親が参加できない少年と一緒に泊りがけのキャンプに参加するよう勧める。

ワード初等協会会長会および 11 歳スカウトの指導者と相談のうえで、ビショップリックは班長として奉仕する役割を一人の少年に割り当てる。この班長は、11 歳の班が参加する行事を計画する際に、年上の隊長と時々集会を持つことができる。班長は、成人指導者の助けを受けて次長を選び、班のそのほかの義務を割り当てるべきである。

ワードまたは支部に 11 歳の少年が一人か二人しかいない場合でも、アロン神権を受ける準備をし、ボーイスカウトプログラムの中で進級するという彼らの目的は同じである。そのような状況でプログラムを実施する場合に可能な方法には以下のものが含まれるが、これらに限定されない。

1. 活発化と伝道によって班の人数を増やす。
2. BSA の Lone Scout Program を活用する。
3. 関係する家族にかかると想定される距離や費用、時間の負担を考えたうえで、近隣のワードまたは支部と合同で行う。

この最後の選択肢を採用した場合、初等協会会長およびビショップリックの初等協会担当アドバイザーは、自分のワードまたは支部から参加させた少年一人一人の成長を引き続き記録する。

少年は、12 歳で執事定員会および Boy Scout troop に入る。

### 6.3 デイキャンプ

デイキャンプは少年に、野外活動を楽しみ、野外活動の進級科目を達成する機会を与える。BSA local council がデイキャンプを行わない場合、または、そのデイキャンプの開催地が距離的に参加しやすい場所で行われない場合、ワードまたはステークの初等協会会長会の一員が、デイキャンプの計画を

指示する。例えば、ワード初等協会会長会の一員と 11 歳スカウトの指導者がワードスカウト委員会の助けを受けて、11 歳スカウトを対象としたワードデイキャンプを計画することができる。A Day Camp Guide for Eleven-Year-Old Scouts (『11 歳スカウトのためのデイキャンプガイド』) がインターネット上に公開されている (LDS.org)。

### 6.4 11 歳スカウトの班長

11 歳の少年の初等協会教師やその他の有能な成人は、このグループのスカウト指導者として奉仕することができる。この指導者は以下のことを行うべきである。

1. 初等協会会長会の一員の指示の下で働き、定期的にその一員と会ってスカウト活動プログラムと各少年の成長について話し合う。
  2. 11 歳スカウトの指導者として BSA に登録する。
  3. ワードスカウト委員会集会に出席する。
  4. 該当するスカウト訓練に参加する。
  5. 招待された場合、その他の初等協会の集会に出席する。
  6. 「神への信仰賞」を取得し、スカウト活動で進級できるよう各少年を助ける。
  7. 少年がデイキャンプに参加するようにし、必要であればデイキャンプの計画を助ける。
- その他の情報は、LDS.org を見る。

### 6.5 ワード初等協会会長会

ワード初等協会会長会はビショップリック顧問の指示の下で、8 歳から 11 歳の少年のスカウト活動の責任を持つ。教会は 8 歳未満の少年のスカウト活動プログラムには参加しない。会長会の一員には、スカウト活動が適切に管理されるよう監督する責任がある。

会長会の一員は以下のことを行うべきである。

1. BSA に登録してその訓練を受け、該当するワードスカウト委員会で奉仕し、教会の方針に従ってスカウト活動が行われるようにする。
2. スカウト活動を『神への信仰』プログラムと調整して、福音を中心とした活動が維持できるようにする。
3. スカウト指導者の訓練への出席を勧める。
4. スカウト活動がいかに家族を強め、初等協会の目的を達成することになるかを指導者に理解してもらう。
5. スカウトの集会や活動を支援するために訪問し、少年がスカウト活動で経験する事柄の質を評価する。各少年の成長と参加状況を、会

長会の集会とビショップリックの担当アドバイザーとの定期的な集会で見直す。

6. デイキャンプを計画し、少年がそれに参加できるようにする。

---

## 7.0 章と表彰

教会では、以下のスカウト活動章と表彰が少年と若い男性、指導者に与えられることになっている。

*On My Honor Award*。これは、Boy Scouting または Varsity, Venturing の若い男性に与えられる、末日聖徒の religious award (宗教章) である。他の宗教のスカウトも、この章を獲得することができる。

*On My Honor Adult Recognition*。この勲章は、成人スカウト指導者に与えられる。この勲章を授与する条件および授与する際の提案は、申請カードに記載されている。

*Faith in God Award*。8歳から10歳までの初等協会の少年および他の宗教の少年は、『神への信仰 (少年用)』ガイドブックで square knot アイコンの付いた条件をすべて満たすと BSA Religious Square Knot Award を取得することができる。

BSA Religious Square Knot patch その他の章については、インターネット上の *BSA Guide to Awards and Insignia* に説明がある。訓練章およびその取得条件については、BSA local council office に問い合わせる。

---

## 8.0 教会の方針

### 8.1 標準

教会の標準は、スカウトが提供するすべての活動において守らなければならない。末日聖徒のスカウト活動ユニットに登録されているすべてのスカウトとその指導者には、『若人の強さのために』に記載されている教会の標準に従って生活することが求められる。

### 8.2 青少年および成人の登録

年間を通して、各ワードは、BSA に参加するすべての青少年および成人がきちんと登録されていることを確認する。BSA に初めて入る青少年は、BSA youth application (BSA 青少年申請手続き) を完了しなければならない。登録した青少年が他のスカウト活動ユニットに所属した後にワードのスカウト活動ユニットに入る場合、ワードはその青

少年の氏名および生年月日、郵便物の宛先を、親または後見人の電話番号とともに BSA に送ってその旨を通知する。この通知には、ビショップリックの一員の署名がなければならない。

成人指導者は皆、BSA adult application (BSA の成人用申請手続き) を完了しなければならない。スカウト活動の成人指導者は皆、スカウトでの奉仕を始める前にきちんと登録し、Youth Protection Training を受けなければならない (8.6 および 8.8)。

他の宗教の人も含め、末日聖徒のユニットに属する青少年および成人の登録費用はすべて、教会本部から直接 BSA National Council に支払われる。

### 8.3 再認可

再認可とは毎年行われる手続きであり、これによって各スカウト活動ユニットは BSA の公式な所属団体として認可を更新する。再認可申請の手続きの一環として、各ワードは、ユニットに所属する青少年の氏名および生年月日、連絡先を記載したスカウト活動ユニットの最新名簿を、BSA local council に送る。この名簿には、8歳から15歳までの若い男性全員の情報を記載する。16歳から17歳の若い男性の情報は、本人が進級を目指している場合またはワードが Venturing crew を提供している場合にかぎり、記載される。この名簿には、ビショップリックの一員の署名がなければならない。

他の宗教の人の分も含め、rechartering (再認可) 申請費および unit liability insurance (ユニットの損害賠償保険料)、annual registration (年間登録費用) は、教会本部から直接 BSA National Council に支払われる。

教会は、少女または若い女性のスカウト活動を主催・後援しない。教会の初等協会および若い女性のプログラムは、少女および若い女性にとって必要で益となるものを提供できるように作成されている。

### 8.4 スカウト活動ユニットの合同活動

各ワードがきちんと登録されたユニットを維持しているかぎり、ステーク会長は、週日の活動を合同で行うことを小さなユニットに認可することができる。この場合、各ユニットに成人指導者がいて、定着および勧誘、活発化が各ワードおよび定員会によって常に行われていなければならない。



## 8.5 成人スカウト指導者の召し

ふさわしい成人は、教会員であるかどうかにかかわらず、スカウト指導者として奉仕する召しを受けることができる。スカウト活動で奉仕する召しを受けた各会員の最新の会員記録は、地元ユニットに置くべきである。スカウト活動の成人指導者は皆、スカウトでの奉仕を始める前にきちんと登録しなければならず、また Youth Protection Trainingを受けなければならない。

スカウト活動の割り当てを受けて奉仕する教会員は、支持および任命を受けるべきである(8.8参照)。教会員でない人がそれを希望した場合、その人は割り当てを果たすうえで助けを得られるよう、ビショップリックの一員から祝福を受けることができる。

ビショップリックは、初等協会の年齢のスカウトのスカウト指導者として奉仕する召しを、男性または女性に与えることができる。女性はアロン神権の年代の若い男性の指導者を務めることはできないが、スカウト委員会の委員長を務めたり、スカウト委員会で奉仕したりすることはできる。

可能であれば、指導者がアロン神権およびスカウト活動の召しで長い期間にわたって奉仕して十分な訓練を受け、しっかりとした活動プログラムを確立し、少年および若い男性の生活に巧みに影響を与えられるようになるよう配慮するべきである。

## 8.6 青少年保護プログラム

BSA は、Youth Protection Trainingを受けることをすべてのスカウト指導者に求めている。同訓練はインターネットまたは BSA local district もしくは council で受けることができる。

## 8.7 二人体制による指導

スカウト活動におけるすべての旅行、遠足、クラス、集会には、登録された成人指導者2名、または登録された成人指導者1名と参加者の親1名(いずれか一人が21歳以上)がいなければならない。

Scoutmaster's conference や merit badge counseling などの私的な大会を開かなければならない場合、集会は他の成人または青少年に配慮して行うべきである。

キャンプの際に青少年は、自分の親または後見人以外の成人のテントで寝ることは許されない。

キャンプで着替えたりシャワーを使ったりする場合、成人指導者は青少年のプライバシーを尊重しなければならず、立ち入るのは健康上または危機管理上やむを得ない場合のみにするべ

きである。また成人は、同様の状況で、自分自身のプライバシーも守るべきである。

## 8.8 BSA 成人指導者の背景審査

BSA は、登録承認手続きの過程で、新たに成人指導者になるすべての者に対して犯罪歴のチェックを行う。これには Social Security numbers の確認も含まれる。BSA がこの手続きを完了したことを神権指導者が確認するまで、スカウト指導者を支持または任命するべきではない。問題が起こった場合も、神権指導者は BSA の役員と協力してそれを解決するべきである。

## 8.9 安全管理

神権指導者とスカウト指導者は、定期的『手引き 第2部』13章を読み、活動と安全に関する方針と指針を確認する。指導者は、BSA が発行している *Guide to Safe Scouting* に記載されている指針にも従うべきである。この出版物は [scouting.org](http://scouting.org) および BSA local council service centers で見ることができる。その他の安全に関する指針は、[safety.lds.org](http://safety.lds.org) で見ることができる。

指導者は、活動および遠足を計画する際には必要に応じて、旅行計画および活動計画だけでなく、BSA Activity Consent Form (BSA 活動同意書) および親または法定後見人の許可書を使用するべきである。

活動は参加者の年齢と能力、成熟度、健康状態に応じたものにするべきである。指導者および青少年には、その活動に見合った体力がなければならず、医学的見地から見た個人の危険因子も慎重に考慮するべきである。活動を実施する前に指導者は、その活動特有の安全対策について参加者全員に教えるべきである。指導者および青少年は、活動および活動場所に関するすべての法律と安全指針を知り、それを遵守するべきである。

## 8.10 緊急事態

指導者は起こり得る緊急事態に備えておき、地元の警察や救急隊への連絡方法を前もって知っておくべきである。

## 8.11 事故の対応と報告

教会の敷地内で行う活動または公式なスカウト活動、または教会が主催・後援する活動の最中に事故、病気、けがが発生した場合、指導者は速やかにビショップおよびステーク会長に連絡するべきである。不慮の事故死、または入院宿泊を伴う事故の場合、指導者は速やかに教会本部の the Risk Management Division (危機管理課) に連絡する。(電話 1-801-240-4049 または 1-800-

453-3860, 内線 2-4049)。指導者は地元の BSA council にも連絡する。

事故への対応とその報告に関する詳しい指針は、『手引き 第 2 部』13.6.20 を参照する。

## 8.12 キャンプと安息日の遵守

安息日を聖く守ることは主の戒めであり、教会の慣行である。教会は、日曜日のハイキングとキャンプを認めていない。スカウトのグループは、キャンプへの行き帰りを日曜日に行ってはならない。遠足は、必ずアロン神権の兄弟およびその他の会員が通常の教会の割り当てを果たせるように計画するべきである。

例外として神権指導者は、教会が主催・後援するスカウト活動ユニットが BSA の主催・後援による日曜日を含む全国および地域のジャンボリーに参加することを、許可することができる。これに参加できるのは、事前に神権者の承認を受けていて、認可された神権指導者が監督する場合のみである。このような行事に参加する会員は、安息日にふさわしくない活動には参加しない。これらの行事の期間中に開かれる聖餐会には、スカウトのユニフォームを着用して出席することができる。

神権指導者が管轄するワードまたはステークの区域外である場合は、聖餐会を開いてはならず聖餐も執行してはならない。例外については七十人会長会の一員から承認を受けなければならない。

スカウト活動の行事（承認を受けた長期間のキャンプを除く）は、家庭の夕べを開く夜に指定されている月曜日の夜には開かない。

## 8.13 Scouting Month (スカウトの月)

アメリカでは伝統的に 2 月が、「Scouting Month」に指定されてきた。教会から認可されたスカウト活動ユニットの指導者は、この伝統を踏まえた活動を計画し、実施することができる。しかしながら、安息日を守るために、少年と指導者は、通常の日曜日の集会および聖餐の祝福とパスの際にはスカウトのユニフォームを着用しない。

## 8.14 移動

指導者は、『手引き 第 2 部』(13.6.24) に説明のある、移動に関する方針に従うべきである。それに加えて、教会が主催・後援するスカウト活動グループの一員として移動する会員は、旅行および活動の計画を作成して適切な神権指導者から承認を受けるべきである。教会スカウト活動ユニットは、旅行用の車両またはバスを所有したり購入したりしてはならない。

個人の乗用車を使用する場合、各運転手は運

転免許を有する、責任能力のある成人が務めるべきである。すべての自動車および運転手は、適切な額の自動車保険に加入しているべきである。

運転手には、すべての法規に従い、車両が安全に運転できる状態にあることを確認し、同乗者全員にきちんとシートベルトを着用させるよう指示するべきである。また運転手には、眠気のあるときには運転せず、運転中には携帯電話を使用せず、運転から注意をそらすその他の行為を決して行わないよう指示するべきである。

## 8.15 スカウト活動のための資金

指導者は、『手引き 第 2 部』にある予算交付金の指針に従って、スカウト活動の資金を調達する(8.13.7 および 11.8.7, 13.2.8, 13.2.9, 13.5, 13.6.8 参照)。ワード予算は、地元の指導者の判断に従いスカウト活動の章および資材を購入するために使うべきである。商業目的で製造もしくは包装された物品またはサービスを、有償で提供するべきではない。

スカウト活動ユニットは、その他の予算交付金のすべての指針に沿っている場合にかぎり、少年または若い男性によるチケット販売を含むスカウティングショーやキャンボリー、その他の BSA の活動に参加することができる。

教会は、BSA の年次「Friends of Scouting」募金活動を支援している。この資金は、BSA local council の資源になる。ステーク会長とビショップは、自分のユニットの募金活動を監督する。

## 8.16 ユニフォーム

スカウト活動ユニットに登録している若い男性には、適切なユニフォームを着用するよう勧める。ユニフォームを購入できない若い男性や少年をスカウト活動から除外すべきではない。ユニットは中古のユニフォームを提供できるような用意をして、少年たちがユニフォームを着用できるようにしてもよい。簡略化されたユニフォームや記章は、BSA から認められたものであれば適切であり、身に付けてよい。可能な地域では、適切なスカウト活動用ユニフォームの着用を成人指導者にも勧める。

## 8.17 他の宗教の若い男性および少年

教会の標準に従うことに同意している他の宗教の若い男性および少年は、スカウト活動に歓迎し、参加を勧めるべきである。彼らの参加費用は、他の青少年と同様に支払う。彼らの家族が任意で寄付してくれる場合、教会の方針に従って受け入れ、取り扱う。

## 8.18 障がいのある少年および若い男性のためのスカウト活動

できるかぎり、プログラムおよび活動は、障がいのあるスカウトの参加も含めて計画するべきである。精神的または肉体的、情緒的な障がいを持つ若い男性または少年には、各自の能力が許す範囲でスカウト活動に参加するよう勧めるべきである。彼らはプログラムの要件をできるかぎりたくさん達成することができる。障がいのある人たちにスカウト活動を経験してもらうことに関するその他の情報は、scouting.orgおよび BSA local council officesで確認することができる。『手引き 第2部』21.1.26も参照。

## 8.19 特殊キャンプおよび合同ユニットキャンプ、長期間のキャンプ

末日聖徒のスカウト活動ユニットは、特定の技能または趣味、経歴のみに焦点を当てた「特殊」プログラムまたはそれに類するプログラムを組織することが認められていない。

二つ以上のユニットが合同で行う Venturers 対象の3泊、Boy Scouts および Varsity Scouts 対象の5泊を超えるステークまたはワードのスカウトキャンプは、BSA national camp の標準に従ったもので、local council の認可を受けていないかぎり、「スカウト」キャンプとして宣伝することはできない。長期間のキャンプが、認可されたスカウトキャンプの基準を満たさない場合、それはBSAの賠償責任保険の対象にならない。長期間のキャンプにはBSAの施設を使用することが強く勧められている。

## 8.20 公式なスカウト活動および認可されていない活動

「公式なスカウト活動」とは、BSAの確立されたプログラムならびに価値観、憲章、規約、規則および規定に沿った活動のことである。BSAの*Guide to Safe Scouting*には、計画する際の指針が、認可されていない活動および制限付きの活動のリストとともに記載されている。このリストに記載されている活動は、公式なスカウト活動とは見なされない。

ボランティア（登録および未登録）およびユニット、認可された組織が、認可されていない活動に携わった場合、本人および組織が保険の対象とならなくなる恐れがある。指導者は、自分自身または他の人、教会を危険にさらすような行為をするべきではない。（BSAの*Guide to Safe Scouting*, section X, “Insurance.” (section X「Insurance」)参照。)

## 8.21 賠償責任保険

スカウト集会および公式のスカウト活動の条件を満たす行事にBSAを通して提供される保険がある（8.20参照）。BSAは、登録されているスカウト指導者およびスカウト活動ユニット、認可組織を守る、包括的な主要一般賠償責任保険を提供している。

BSAの一般賠償責任保険プログラムを通して未登録のスカウト活動ボランティアに提供される保険は、ボランティアが利用できるどんな保険よりも厚い保障を提供している。BSAを通して自動車または船に掛ける賠償責任保険は、厚い保障を提供している。（BSAの*Guide to Safe Scouting*, section X, “Insurance.” (section X「Insurance」)参照。)

教会内で個人に掛ける賠償責任保険に関する指針は、『手引き 第2部』13.6.9を参照する。そこには、以下のように記されている。「可能ならば、活動を監督する人は、妥当な額の賠償責任保険に加入することにより、自らを守るべきである。そのような保険は住宅総合保険またはその他の手段を通じて利用できるであろう。」

教会は通常、主要賠償責任保険を掛けないが、教会の基金を使って賠償金を支払う。個々の状況に即して、教会は、教会の活動に関連して訴訟を起こされた人を援助することができる。教会がこの基金を使用するのは、あらゆる手段を行使した後となる。公式のスカウト活動には、BSAを通して保険を掛けるべきである。

教会もBSAも、故意に危険な行動をする人または犯罪行為をする人のために賠償金または弁護士費用を払うことはない。

## 8.22 Church Activity Medical Assistance (CAMA) [教会の活動の医療援助]

Church Activity Medical Assistance (CAMA) は、スカウト活動を含む、教会が主催・後援する活動に適用される。CAMAはDeseret Mutual (DMBA) [デゼレト相互]が行い、アメリカ合衆国内のステークおよびワード・支部が主催・後援する活動の参加者に援助を提供する。障害保険および健康保険の費用は、BSA local councilに支払うべきではない。この援助を受ける方法については、最新のDMBA手引きおよびCAMA手引きを参照する。（dmba.com/churchactivityで詳細を調べるか、または、『手引き 第2部』13.6.9を参照）